

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : セメダイン 木工用速乾
会社名 : セメダイン株式会社
住所 : 〒306-0204 茨城県古河市下大野2184
担当部門 : 品質保証部 化学物質管理グループ
電話番号 : 0280-92-4518
FAX番号 : 0280-92-1947
メールアドレス : emg@cemedine.co.jp
緊急連絡先 : 0280-92-4518 月曜～金曜、8時30分～16時50分(言語:日本語)
整理番号 : 0252

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
自然発火性液体 区分に該当しない
引火性液体 区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) 分類できない
急性毒性(経皮) 分類できない
急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない
皮膚腐食性/刺激性 分類できない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 分類できない
呼吸器感作性 分類できない
皮膚感作性 分類できない
生殖細胞変異原性 分類できない
発がん性 分類できない
生殖毒性 分類できない
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) 分類できない
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) 分類できない
誤えん有害性 分類できない

環境に対する有害性

水性環境有害性 短期(急性) 分類できない
水性環境有害性 長期(慢性) 分類できない
オゾン層への有害性 分類できない

※ 記載がないものは区分に該当しない、または分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語

危険有害性情報

注意書き

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 使用前に取扱説明書を入手すること。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
 保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面を着用すること。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 環境への放出を避けること。
 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
 この製品のラベルの応急処置を見ること。

【応急措置】

吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診断/手当を受けること。
 皮膚刺激または発しんが生じた場合は、医師の診断/手当を受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

【貯蔵】

施錠して保管すること。
 容器を密閉して涼しく換気の良いところで保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

化学名(一般名・別名)： 酢酸ビニル重合体水性エマルジョン接着剤

成分及び含有量

成 分	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
酢酸ビニル	<0.3	(2)-728	108-05-4

4. 応急措置

吸入した場合： 蒸気、ガス等を吸入して、気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させて、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。
 皮膚に付着した場合： 付着した衣服、靴をぬぎ、大量の水で洗い流す。洗い流してから水と石鹸で皮膚を洗浄する。専門医の手当てを受ける。
 眼に入った場合： 清浄な水で最低15分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。
 飲み込んだ場合： 水でよく口の中を洗い、直ちに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 水、強化液、泡消火剤、粉末消火剤が有効。
 使ってはならない消火剤： 情報なし
 特有の消火方法： 火元への燃焼源を断ち、風上から消火剤を使用して消火する。
 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
 延焼の恐れのないように散水して、建物などの冷却に努める。
 消火を行う者の保護： 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置： 暴露防止の為、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。
 漏出した場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
 環境に対する注意事項： 周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。
 公共用水域、河川、湖沼へ流入しないように注意する。流入した場合は、必要に応じ、警察署・消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協等に直ちに連絡を取る。
 封じ込め及び浄化の方法
及び機材： 全ての発火源を取り除く。
 危険区域から立ち退く。
 専門家に相談する。

個人用保護具: 自給式呼吸器
 下水に流してはならない。
 漏れた液やこぼれた液を、密閉式の容器にできる限り集める。
 残留液を、砂又は不活性吸収剤に吸収させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 換気の良い場所で行う。
 眼・皮膚への接触を防止するため、保護眼鏡・保護手袋等の保護具を着用する。
 注意事項 : 取扱いは局所排気設備のある場所で行い、取扱い後は手洗い及びうがい
 を十分に行う。
 安全取扱い注意事項 : 適切な保護具を着用する。関係法規に準拠して作業する。

保管

- 安全な保管条件 : 凍結、直射日光を避け、屋内で保管すること。
 保管時の温度は5℃以下あるいは35℃以上とならないようにする。
 皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。
 安全な容器包装材料 : 不浸透性のもの、腐食、破損のないものを使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱いについては密閉された装置、機器又は局所もしくは全体排気装置
 を設置した場所で行う。
 管理濃度・許容濃度 :

成 分	管理濃度 (2013年)	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH(2013年度版)
酢酸ビニル	未設定	未設定(2015年度版)	10ppm(TWA) 15ppm(STEL)

保護具

- 呼吸用保護具 : 保護マスク
 手の保護具 : 保護手袋
 眼の保護具 : 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型)
 顔面の保護具 : フェイスシールド等
 皮膚及び身体の保護具 : 安全靴、長袖作業衣等

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : エマルション
 色 : 乳白色
 臭い : 僅かな酢酸臭
 沸点 : 100℃(水)
 可燃性 : データなし
 爆発限界(vol %) : データなし
 引火点 : >100℃
 自然発火点 : データなし
 分解温度 : データなし
 pH : 4.0~6.0
 動粘性率 : データなし
 蒸気圧 : データなし
 密度 : 1.0~1.1g/cm³ (20℃)
 相対ガス密度 : データなし
 粒子特性 : データなし
 溶解性 : 水で任意の割合に希釈可能

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : データなし
 化学的安定性 : 密閉状態で、冷暗所では安定。
 危険有害反応可能性 : データなし
 避けるべき条件 : 5℃以下の低温及び35℃以上の高温。
 混触危険物質 : データなし
 危険有害な分解生成物 : データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)

- 分類 : 分類できない
 根拠データ : 酢酸ビニル 区分5

急性毒性(経皮)
分類 : 分類できない
根拠データ : 酢酸ビニル

急性毒性(吸入:蒸気)
分類 : 分類できない
根拠データ : 酢酸ビニル

皮膚腐食性/刺激性
分類 : 分類できない
根拠データ : 酢酸ビニル

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性
分類 : 分類できない
根拠データ : 酢酸ビニル

呼吸器感作性
分類 : 分類できない
根拠データ : 酢酸ビニル

皮膚感作性
分類 : 分類できない
根拠データ : 酢酸ビニル

生殖細胞変異原性
分類 : 分類できない
根拠データ : 酢酸ビニル

発がん性
分類 : 分類できない
根拠データ : 酢酸ビニル

生殖毒性
分類 : 分類できない
根拠データ : 酢酸ビニル

特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)
分類 : 分類できない
根拠データ : 酢酸ビニル

特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)
分類 : 分類できない

ラット LD50 2900mg/kg(環境リスク評価)、
1600~3480mg/kg(初期リスク評価書)

区分5
ウサギ LD50 2335~7470mg/kg(初期リスク評価書)

区分4
ラット LC50(4hr)11.4mg/L(環境リスク評価)、
3200~4490ppm(初期リスク評価書)

区分2
ウサギ 皮膚刺激性試験 軽度の紅斑、浮腫等
(DFGMAK、ATSDR)
連続的な皮膚ばく露 重度の刺激性、水疱(ECETOC)

区分2
蒸気 眼刺激性(初期リスク評価書、ATSDR)
ヒト ドレイズ試験 眼刺激(22ppm)(ECETOC)
ウサギ 眼刺激性試験 強度の刺激性(初期リスク評価書、
ACGIH、ECETOC)

データなし

5年間にわたる労働者(21人)の医療記録
アレルギー性皮膚炎の誘導なし(ECHA)
マウス 皮膚感作性試験(LLNA 法) 陰性(ECHA、PATY)
モルモット 皮膚感作性試験(ビューラー法) 陽性(ECHA、初期
リスク評価書、DFGMAK)

区分2
マウス in vivo 小核試験/姉妹染色分体交換試験(腹腔内投与)
陽性(初期リスク 評価書)
ラット 染色体異常試験(腹腔内投与) 陽性(DFGMAK)
エームス試験 陰性(ECHA、ACGIH)
ヒトリンパ球 in vitro 染色体異常試験/小核試験 陽性
(ECHA、ACGIH)

区分2(発がんのおそれの疑い)
IARCグループ2B(ヒトに対して発がん性がある可能性がある物質)
ACGIH A3(ヒトへの関連性は不明であるが、動物実験で発がん
性が確認された物質)

ラット 2 世代生殖毒性試験(飲水投与)雄の交尾率の低下、
妊娠率のわずかな低下 NOAEL=1000ppm
(ECHA、初期リスク評価書)
妊娠 6~15 日のラット 吸入暴露試験 母動物:肺のうっ血
児:頭臀長短縮、骨化遅延等 NOAEL=200ppm
(ECHA、初期リスク評価書)

区分3(気道刺激性)
ウサギ 吸入暴露試験 中枢神経系の抑制(初期リスク評価書)
ラット 吸入暴露試験 あえぎ、努力呼吸、平伏、ひきつけ
(ECHA、DFGMAK)

根拠データ	：	酢酸ビニル	区分2(呼吸器) ラット/マウス 2年間吸入暴露試験 鼻腔嗅上皮の扁平上皮化生や萎縮、基底細胞の過形成 NOAEL = 50ppm (ECHA、初期リスク評価書、ACGIH) マウス 13週間吸入暴露試験 200ppm: 巣状肺炎、鼻炎 (初期リスク評価書、ACGIH)
誤えん有害性			
分類	：	分類できない	
根拠データ	：	酢酸ビニル	ヒト(誤嚥や吸入): 化学肺炎の恐れ (MSDS-OHS)

12. 環境影響情報

生殖毒性			
水性環境有害性 短期(急性)			
分類	：	分類できない	
根拠データ	：	酢酸ビニル	区分2 魚類(ヒメダカ) LC50(96hr)2.39mg/L 甲殻類(オオミジンコ)EC50(48hr)9.22mg/L、NOEC(21day)0.317mg/L 藻類(ムレミカツキモ)ErC50(24-48hr)8.9mg/L (初期リスク評価書) NOEC (24-48hr)7.43mg/L(生態影響試験結果)
水性環境有害性 長期(慢性)			
分類	：	分類できない	
根拠データ	：	酢酸ビニル	データ不足
残留性・分解性	：	酢酸ビニル	生分解性試験(2 週間) 良分解性(既存点検、ECHA)
生体蓄積性	：	酢酸ビニル	生物蓄積性は低いと推定(ECHA) BCF = 3.16(計算値)(ECHA)
土壤中の移動性	：	酢酸ビニル	Koc = 6(推定値)(有害性評価書)
オゾン層への有害性			
分類	：	分類できない	
根拠データ	：	酢酸ビニル	データなし
他の有害情報	：	製品	河川に流出した場合はエマルション中の樹脂の粘着による呼吸困難のため魚類が死亡する場合がある。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	：	焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄	：	空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号	：	非該当
国連輸送名	：	非該当
国連分類	：	非該当
容器等級	：	非該当
国内規制	：	規制はなし
国際規制	：	規制はなし
輸送の特定の安全対策及び条件		
注意事項	：	容器毎に、栓の締め具合、漏れの無いことを確認し、容器の転倒、落下、摩擦等、容器の損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。 保護具、消火器を携帯する。

15. 適用法令

化審法	：	優先評価化学物質 酢酸ビニル
労働安全衛生法	：	名称等を通知すべき危険物及び有害物 酢酸ビニル
毒物及び劇物取締法	：	通知対象物質ではありません

消防法	:	対象物質ではありません
大気汚染防止法	:	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質 酢酸ビニル
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	:	通知対象物質ではありません

16. その他の情報

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いは十分注意して下さい。

参考資料：日本化学工業協会編「製品安全データシートの作成指針」
日本エマルジョン工業会「合成樹脂エマルジョン製品安全データシート作成の手引」
JIS Z 7253 安全データシート(SDS)
化学工業日報社「化学物質管理促進法 対象物質全データ」
日本エマルジョン工業会編「合成樹脂エマルジョンの輸送事故対策指針」

本文書の記載内容は、現時点で入手できた資料や情報で作成していますが、記載のデータや評価に関しては、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。

SDSの記載内容に関するお問い合わせは販売ルートを通じてお申し出下さい。